



## ごあいさつ

NPO法人 関西芸術文化支援の森ゆずりは

代表理事 和泉 喜久男  
(関西保育福祉専門学校長)

今年も残すところ僅かとなりました。会員の皆様をはじめ、関係の皆様方におかれましては、お元気でお過ごしのことと思います。また、平素は、本法人に対しまして、ご理解ご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、私は11月12日(土)兵庫県立芸術文化センターで開催されました「第36回近畿高等学校総合文化祭の総合開会行事」に出席いたしました。今では、参加府県も2府8県の10府県となり、約8千人の高校生が参加する一大イベントとなっています。第1部は、和太鼓の競演に始まり、参加府県高校生による府県紹介や交流パフォーマンスなど、第2部は、「華～五つの故郷へ」と題した劇を鑑賞しました。

公募による出演高校生の熱の入った演技は、会場に感動を呼び起こしました。県立西宮高等学校音楽科オーケストラは第1部、第2部を通じオーケストラボックスにおいて、それぞれの場面に応じた華麗な演奏を披露していました。全体を通してとても良かったと思います。関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。

この文化祭は、兵庫県の故坂井時忠知事が近畿ブロック知事会の中で、「近畿は一つ」を合い言葉に、各府県の高校生が一同に集い、各分野の芸術・文化活動を発表しあうことでお互いの文化的交流を深めようと提唱され、第1回は1981年、兵庫県で開催されました。私は1989年に2巡目として兵庫県で開催されました第9回近畿高等学校総合文化祭で予算確保、全部門の会場確保、総合開会行事のデモンストラレーション準備、広報等を担当させていただきましたので、感慨深いものがありました。また、当時より参加部門数は20部門と増え、高校生の文化活動のますますの活性化を大変嬉しく思っています。

最後に先般11月6日(土)西宮プレラホールで開催しました「第3回音楽の広場」～熊本地震被災地支援コンサート～では、多くの方々にお越しいただき深く感謝申し上げます。また、売り上げの一部と会場の募金箱の額を合わせた2万円を熊本県義援金受入口座に寄付させていただきます。ご協力ありがとうございました。これからも若い演奏家の支援、そして心豊かな社会づくりに貢献できますように地道に取り組んでまいります。どうぞ引き続き温かいご支援をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



### 第6回ゆずりはコンサート開催決定

兵庫県立芸術文化センター小ホール

2017年8月13日(日) 14時開演予定

後日、ホームページにて出演者を募集



講演会「トークを磨こう」第2弾  
近日開催予定!!

講師：吉岡 邑玲 氏

ミニコンサートのワークショップ形式で  
コンサート MC の指導をしていただきます

「ゆずりは」という名前は、植物のコズリハからとったものです。コズリハという植物の名は、新しい葉が伸びて古い葉が落ちることから世代が絶えることなく引き継がれていくことを意味しています。

私たちの活動は、「ゆずりは」のように、芸術家を目指している若い世代の演奏家の育成を目的としています。また、その活動がこころ豊かな社会づくりに貢献することを願っています。

## 第3回 音楽のひろば ～熊本地震被災地支援コンサート～

2016.11.6 Sun.



木々の葉が色づき始めた11月初旬、西宮市プレラホールにて第3回音楽のひろばを開催しました。多くのお客様にご来場いただき、ありがとうございました。

熊本地震被災地へのご支援にも深く感謝申し上げます。

当日のアンケートにご記入いただきましたご意見、感想等を抜粋で掲載いたします。



- ♪ 音大生、新卒生はなかなか発表の場所がなく、皆苦労しておられます。(中略)今日のようなコンサート開催の頻度をもっともって上げていって下さい。(男性) ♪ 素晴らしい演奏会でした。なかなか聴く機会のないクラシックのコンサートですが、気軽に聴く事が出来て良かったです。(40代女性) ♪ 八魂の演奏の数々が胸に迫りました。(60代男性) ♪ 若い人の元気な音色に昔を思い出しました。ありがとうございました。又の出逢いがありますよう願っています。(70代女性) ♪ 司会が判りやすく(曲紹介)、出演者がだまって出てだまって座るコンサートのより楽しく感じました。色々な楽器の出演者で飽きずに楽しめました。(50代女性) ♪ コンサートが多数ある中、集客は難しいですが、多くの方に聞いていただけるようにアピールするにはどうしたら良いか考えています。司会されたことは説明が分かりやすく良いと思います。(60代女性) ♪ フレッシュで楽しいコンサートでした。(50代女性) ♪ せっかく学校で音楽を専攻しても披露する場がなかなかないと思います。こういう団体が手を差しのべてくれるのはたいへんいい事だと思います。これからもよろしくお願いします。(50代男性) ♪ 出演者の皆様、ゆずりはのスタッフの皆様、ありがとうございました。今日も良い出会いがありました。(50代男性)



### 音楽がつなぐもの

神戸女学院大学3年 渡部 里紗

わたしは今回、モーツァルトの連弾を弾かせて頂きました。一緒に演奏した笹川さんと『わたしたちも、聴いてくださるお客さんも楽しくなるような曲が弾きたい』ということで選曲しました。試験などの評価される本番ではいつも弾くことに精一杯になりがちですが、今回は緊張しながらも楽しく弾くことができ、アンサンブルの楽しさも改めて実感しました。また、このような演奏会を通して、同じように音楽をしている人との新しい出会いがあったり、久しぶりの再会ができることが、とても素敵なことだと思いました。これからも、音楽の輪を広げていきたいです。演奏や準備などの反省点もたくさんありますが、それも踏まえて、さらに経験を積んで精進していきたいです。このような演奏の機会を与えて頂き、本当にありがとうございました。



## 新理事を紹介いたします！

当法人は、本年5月より新理事を迎え、新たにスタートしました。役員の変更がございましたので、新理事2名のご挨拶とともに紹介いたします。



### 「ゆずりは」ご挨拶

兵庫県立西宮高等学校

校長 藤田 浩毅

皆様、はじめまして。本年4月1日付けにて兵庫県立西宮高等学校の校長を拝命し、着任いたしました藤田浩毅と申します。私自身は神戸の出身で、教科は、保健体育、バレーボールが専門です。県下公立高校唯一の音楽科を有する全国でも名高い伝統ある「県西」に奉職することになり、身の引き締まる思いでいっぱいです。もとより微力ではありますが、「県西」の発展のために全力で邁進する覚悟です。これまで同様、皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

この度、ご縁が有り、本校音楽科の卒業生の皆様を中心とした若手演奏家の演奏活動を支援している「NPOゆずりは」に、皆様と一緒に参加させていただけることは、大変名誉なことと存じております。私自身は、音楽のことは全くの素人で、わからないことばかりですが、今後、皆様にご指導いただく中で研鑽を積み、日本の音楽を愛する方々の気持ちをさらに醸成し、本校音楽科の卒業生のみならず、若い芸術家たちが演奏家として活躍できる環境づくりに少しでもお役に立てるよう尽力してまいりたいと思っております。

最後になりましたが、皆様方の今後ますますのご発展とご活躍を心より祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

### 理事就任挨拶

大阪教育大学

教授 中務 晴之



この度、和泉先生のご推薦を受け「ゆずりは」の理事をお引き受けすることになりました中務晴之と申します。私はフルートを専門としておりまして現在、大阪教育大学と大阪音楽大学で教鞭を執っております。これまでに指導した多くの学生から「ゆずりは」の活発な活動状況を聞いており、今回このような素晴らしい団体の理事に就任させていただく事を非常に光栄に思います。

溢れ余る情報に追い回され、何かと物事の真実を見極める事が困難な現代社会において、芸術文化こそが、人間が人間らしく生きるために必要ではないでしょうか。大学教育においても、今まさに人間形成を最重要に考え、これからの多様な社会情勢に対応できるよう大幅な改革を迫られております。学生達は大学で音楽の素晴らしさに出会い、希望を持って卒業して行きますが現実には厳しく、実力があながらも活動の場が少ないのが現状です。優秀な演奏家達が社会の一員として幅広く活躍し、音楽の持つ力を発信することが芸術文化の発展に繋がり、地域を活性化し、創生すると言っても過言ではありません。

私は、これからも“ゆずりは”が一層地域に根付き、少しでも多くの発表の場を設け、優秀な人材を輩出できるよう発展していくことに、微力ではありますが少しでも貢献できればと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

NPO 法人関西芸術文化支援の森ゆずりは 役員紹介（平成28年5月～）（順不同）

代表理事：和泉 喜久男 専務理事：三田 裕美

理事：佐藤 裕美子・成瀬 修・長谷場 純一・林 香世・堀川 恵生・宮本 美代子

葉谷 佳苗・山本 茂之・山本 龍弥・藤田 浩毅（新）・中務 晴之（新）

小島 由美（新）・渡邊 朋子（新）

監事：石川 照子・西山 重樹

●「ゆずりは」は、役員に加え、多くのボランティアスタッフの参加で成り立っています。私たちと共に活動していただける仲間を募集しております。ご興味のある方は是非、役員やスタッフにお声をかけてください。



去る6月18日(土)、県立川西北陵高等学校の芸術鑑賞会でゆずりはのメンバーが演奏いたしました。その時の様子を、県立川西北陵高等学校の磯村要校長先生が、同校の校長便りに文章を掲載してくださいましたので、この場でその内容をご紹介します。

## 土曜の音楽授業

兵庫県立川西北陵高等学校  
校長 磯村 要

6月18日(土)図書室で、第1回土曜授業として「音楽鑑賞会」を開催しました。

5人の若手音楽家をお招きし、午前9時半から2時間で西洋音楽の半世紀を辿ります。パッヘルベルの「カノン」から、葉加瀬太郎の「情熱大陸」まで、なんと22曲！有名な曲を中心に演奏を聞きながら、途中巧みなMCで音楽史の知識を確認するという趣向を凝らした授業です。

ちょうど「題名のない音楽会」のようでした。たとえば、モーツァルトとベートーベンが同じ「トルコ行進曲」という題で作った曲を聴き比べたり、「パガニーニの主題」をヴァイオリンで聴いてから、ラフマニノフの反行形による変奏をピアノで聴いたりしました。高度な技術を持った演奏者を授業に招かないとこんなことはできません。しかも、ラフマニノフの曲では、特別ゲスト(?)として藤本先生に連弾を披露していただきました。ラストは、生徒も一緒に校歌の合唱をする、なんとも贅沢な授業でした。

出演いただいた皆さんは、NPO「関西芸術文化支援の森ゆずりは」から来ていただきました。県立西宮高校の卒業生を中心に、若い音楽家の活躍を支援する法人です。しおりを見ると、ヴォーカルの今西さんは東谷中学校の卒業です。聞いてみると弟さんが本校の卒業生だそうです。また、ヴァイオリンの加茂さんは5歳から音楽を始めたとあります。他の方々も、ずっと地道な練習を続けてきたから、あの華やかな演奏ができるんです。自分たちと変わらない人たちが好きなことに打ち込んで努力し続けている、ひたむきに生きる姿勢に生徒達が気付くきっかけにもなりました。

ゆったりとした時間が流れる土曜日ならではの、素晴らしい授業になりました。初めての試みで戸惑うことも多かったと思います。藤本先生を始め、準備いただいた先生方、当日参加いただいた先生方、御尽力いただいた皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。



11月4日(金)、兵庫県立神戸商業高等学校の芸術鑑賞会が明石市のアワーズホールで開催され、ゆずりはの演奏家がステージに上がりました。1部：声楽とピアノの演奏、2部：金管五重奏、そして3部は、商業高校の吹奏楽部とのコラボ演奏でした。プロの金管奏者と同じ舞台上上がった生徒さんたちは、アフリカンシンフォニー、エル・クンパンチェロ、アンコール曲の3曲を演奏し、緊張の中にも充実した表情で、よい演奏会になりました。



発行・お問い合わせ先：NPO法人 関西芸術文化支援の森ゆずりは

Tel. 080-3760-4023(代表) 070-5652-8878(小池)

Email: yuzuriha-art@softbank.ne.jp ホームページ: <http://yuzuriha-art.co.jp/>